



## 米タンパク質組成分析報告書

有限会社関西コミュニケーション 殿

  
 厚生労働大臣登録検査機関  
 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所  
 新潟県燕市吉田東栄町8番13号  
 TEL 0256-93-4509 FAX 0256-92-6899

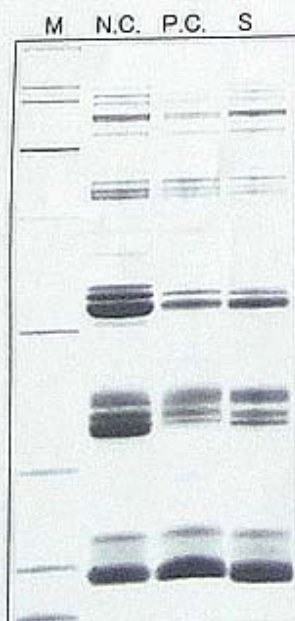
試験責任者 石丸聖司 

ご依頼の検体について、SDS-PAGE法による分析結果を以下の通りご報告致します。

検体名 平成28年産 LGCソフト  
 生産者 森井典男  
 報告日 平成28年10月14日 (平成28年10月5日受付)  
 分析者 (一財)新潟県環境衛生研究所

		平成28年産LGCソフト	P.C. [LGCソフト(比)]	N.C. [コシヒカリ(比)]
易消化性タンパク質	76kDa以上前駆体	5.5	5.5	5.0
	57kDa前駆体	3.8	6.0	6.4
	37-39kDa グルテリンα	17.8	15.3	28.1
	26kDaグロブリン	14.6	13.3	9.9
	22-23kDa グルテリンβ	15.2	14.1	23.9
難消化性タンパク質	16kDa	9.8	10.7	6.9
	13kDa プロラミン	33.3	35.1	19.8

結果は各タンパク質成分の組成比(%)を示す



M: 分子量マーカー  
 N.C.: コシヒカリ(比)  
 P.C.: LGCソフト(比)  
 S: 平成28年産LGCソフト

### 付記事項

- ・P.C.ならびにN.C.の結果は、検体との比較対照として、それぞれの標準玄米を検体と同一の条件下において分析し、得られた結果です。
- ・当試験は、Laemmliの方法(Nature 1970, 227(259), 680-5)に従ってSDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動を実施したものです。  
15%ゲルを用いて分子量マーカー(Molecular Weight Standards BroadRange, Bio-Rad)とともに泳動し、CBB(Coomassie Brilliant Blue)で染色の後、泳動像をPC上で画像解析して得られた値から成分組成比を算出しています。
- ・当試験は特殊なタンパク質抽出用緩衝液により抽出された検液を使用しております。従って総タンパク質の含有量を測定するものではありません。